



一般行政

所属 総合企画部報道広報課戦略広報推進室

入庁年 2016年

異動歴 2016年
佐倉県税事務所
2020年
教育庁企画管理部福利課
(千葉県公立共済組合)
2023年
総合企画部報道広報課
戦略広報推進室

1 仕事の内容は？

私は「報道広報課」で、主に千葉県の各種行事や施策、募集案内や地域情報、魅力などをテレビやラジオを介して広く発信し、県内外の方へ情報発信をする仕事をしています。たとえば、県でも強化している「不正軽油の防止」に関する呼びかけをラジオで流した際、普段、車で何気なくラジオを聴いているという方から、「ラジオを聞いて怪しい場所に思い当たりがある」との情報提供がありました。情報の目的に応じて、放送媒体や内容を選定することが大切だと学びました。

2 志望理由は？

九州出身でさまざまな地域を訪れる中、日本の玄関口である千葉県に魅力を感じました。千葉の強みを伝え、その魅力を国内外に広める仕事に貢献したいと考えています。県外出身の視点を生かし、千葉の魅力を発信していきたいです。

3 仕事のやりがいは？

地元の方々をテレビ取材後、「番組の反響があった。想いを伝えられてよかった」と言われることがありました。飲食店取材ではリポーターに試食してもらったり、SNSで告知など、どのように届けるかを考えて取り組むことにやりがいを感じます。

4 印象に残った仕事は？

県の広報テレビ番組では年に4回、放送時間を延長した特別番組を制作します。テレビ局と協力し、地元の方々の温かさや誇りに触れながら撮影を行い、特に気持ちを込めた放送回が完成しました。放送後にも様々な反響があり、達成感を得られました。

5 県職員として働くことで発見できた千葉県の新しい魅力は？

大型商業施設や多くのレジャースポットなどを取り上げられがちですが、観光業や農業などにも力を入れており、また、三方を海に囲まれた千葉県の“海”に関わる漁業やレジャーは必見です。

「都会」も「自然」もバランスよくある県は珍しいですし、県外の方にも自慢できる魅力だと感じています。また、千葉県のマスコットキャラクターである「チーバくん」の人気の高さにも驚き、たくさんの方に愛されてきたんだと実感し嬉しい気持ちになりました。

6 職場の雰囲気は？

報道広報課は、比較的若い職員が多く、活気がある職場です。常に同僚と情報共有やアイデアを出し合い、コミュニケーションをとっています。また、自然災害などの緊急の事態には、いち早く正確な情報を県民へ届ける必要があることから、迅速な対応力が求められます。そんな時こそ互いに協力し、チームワークを大切にしています。

7 休日や退庁後の過ごし方は？

休日は、千葉県内の観光スポット巡りや、地域のイベントに参加して、リフレッシュするとともに、観光資源を自分の目で確認しています。また、退庁後は本屋へ立ち寄り県内情報の載った旅行雑誌を見て、番組の企画の参考にしたり、家でゆっくり自分の時間を過ごしリラックスしています。

8 一日のスケジュール

- 8:30 ● 出勤 メール確認
- 9:00 ● テレビ番組の台本やテロップの確認
- 10:00 ● 取材先へアポ取り（ロケハンの日程調整など）
- 12:00 ● 昼休憩
- 13:00 ● 出張、取材先でテレビ撮影（ロケ）
- 15:00 ● 帰庁
メール確認、番組の企画書作成
- 16:00 ● ラジオ収録原稿の確認、翌日の準備
- 17:15 ● 退庁

